学校番号	3021

令和２年度　地理歴史科（1 年）

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校　新地理 A」（帝国書院）、「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE 2020」（帝国書院）、「コンターワーク」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理は、地図に記載できるものすべてを学習する学問である。地球そのものの様子や、我々が生きている地球で今何が起きているのか、今の世界はどのようにしてつくられているのか、といったことを、地図や統計などから読み解く学問である。

学習への取り組みに関しては、「あれを何時間しなさい」「この本の何ページから何ページまでを読んでこの部分に線を引いて覚えなさい」などといった、決められたことをただ行う受動的な学習ではなく、自分で何をすべきか、何を読むべきかを考えて判断し、積極的に学習することがない限り、地理も含めたいかなる学問の修得はできないだろう。ただ知識を詰め込んで終わりではなく、世界に通じる教養を身につけていくことを期待する。

2　学習の到達目標

- どこに、どのようなものが、どのように広がっていて、なぜそのようにみられるのか、諸事象を位置や空間的な広がりで捉える。
- 地図に親しみ、地図を活用できる技能を身に付ける。
- 現代世界の地理的事象を、日常生活と関連付けながら考察する。
- 歴史的背景を踏まえながら様々な地域の変容を捉え、地域の課題や将来像について考えることを通して、地理的な見方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのつながりに関する考察を基に、国際社会の中で、日本や世界にみられる課題を主体的に見出し、追求しようとしている。	世界の自然環境について、分布や人間生活との関わりを多面的・多角的に考察するとともに、地域の諸課題を見出して、その過程や結果、将来像を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地図の活用方法と、自然環境の分布や人間生活との関わりなどを理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 学習状況の観察	定期考査	定期考査 ワークシート コンターワーク	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地図から捉える現代世界	・地上の現象と地球上の位置 ・経度の違いと時差	○	○	○	○	a:経緯度の違いとその影響について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:地球上の位置を多面的・多角的に考察し、経緯度の違いが生活にどう影響を与えるか適切に表現している。 c:世界地図を活用しながら目的に合わせて地理情報を選択・処理している。 d:　経緯度と時差の関係について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査
	地形図の利用	・地形図の特徴 ・縮尺と方位、地形図の記号の読み取り ・等高線から谷と尾根、勾配を読み取って立体的に地形を捉える ・地形断面図の作成	○	○ ○	○	○	a:地形図の活用と地域調査に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:地形図を活用した地域調査の方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地形図や写真などから有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:地形図から地域の特色を読み取る方法を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート コンターワーク

	世界の大地形と人々の生活	・地球内外の力がつくる地表のかたち ・プレートの運動とさまざまな境界 ・プレートの境界と造山帯 ・大地形と地下資源	○	○	○	○	a:大地形の分布や成因、そこに住む人々の生活と地形がどう関わるかについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:世界の大地形と人間生活との関わりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:収集した情報を基に、世界の大地形について、図にまとめたりしている。 d:世界の大地形の分布や成因について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 学習状況の観察 コンターワーク
	日本の自然環境と防災	・日本の地形の特徴 ・火山による災害と恵み ・地震による災害	○	○	○	○	a:日本の地形の特色と自然災害との関わりについて関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:地形の特徴から地域の諸課題を見出して、その過程や結果、将来像を適切に表現している。 c:地形図や写真などから、防災に関する有用な情報を選択して適切に表現している。 d:日本の地形と自然災害について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート コンターワーク
後期	山地・平野の地形と人々の生活	・扇状地の特徴と人々の生活 ・氾濫原の特徴と人々の生活 ・三角州の特徴と人々の生活 ・台地の特徴と人々の生活	○ ○ ○ ○	○	○	○	a：人々が地形とどう関わって生活してきたかについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:河川の作用と地形を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地形図や写真などの様々な資料から地域の特色と課題を読み取っている。 d:地形の分布や成因、地形と人間生活との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート コンターワーク

	海岸の地形・氷河地形・カルスト地形と人々の生活	・様々な海岸地形の成因 ・リアス海岸の特徴と人々の生活 ・海岸平野の特徴と人々の生活 ・沿岸流がつくる地形 ・サンゴがつくる地形 ・氷河地形の特徴 ・カルスト地形の成因と特徴	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a:特徴的な地形がどのようにして形成されたか関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 地形と人間生活を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 地形図や写真などから地域の特色を読み取っている。 d: 地形の分布や成因、地形と人間生活との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート コンターワーク
	第3次産業	1. 第3次産業の発展		○	○		a：第３次産業に関する諸事象の分布や動向などに関する考察を基に、世界の工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b：第３次産業について、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：適切に選択した情報を基に、第３次産業について読み取ったり、図などにまとめたりしている。 d：第３次産業について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。